≪共に学ぶ≫ 第 33 回市民教養講座（2024, No2）

テーマ:「サメの歯化石の魅力と不思議

日時: 9 月 29 日（日）　10:00～12:00

会場: 旧若葉台西中学校北棟 1 階木工室

講師: 後藤仁敏先生（鶴見大学名誉教授）

資料代:300 円（当日徴収）小・中学生（無料）にもわかるように話してもらいます。

申し込み:定員：50 名受付開始 9 月 9 日（月）から事前申し込み

お名前, ご住所, 電話番号を記載して

①wakabadaisp1@yahoo.co.jp へのメール申し込み

②045-921-0404（VOSC）への FAX での申し込み

但し：感染症予防のため、マスク着用して下さい。

QR コードでも

サメ類は 4 億年前の古生代デボン紀に出現し、さまざまな仲間が現在まで海で生息し続けてきました。からだの骨格は軟骨で出来ていますが、歯は硬いエナメロイドや象牙質などで構成され、化石として残りやすいのです。

古生代にはクラドドウス型が、中生代にはヒボドウス型が、白亜紀以後は現代型のサメ類・エイ類が栄えているだけでなく、現在もクラドウゥス型のラブカが、ヒボドゥス型のネコザメが生き残っているのです。

古生代から現在までのサメの歯について、スライドと標本をお見せして、人の歯とも比較しつつ、サメの歯の魅力と不思議について楽しんでいただきたいと思います。

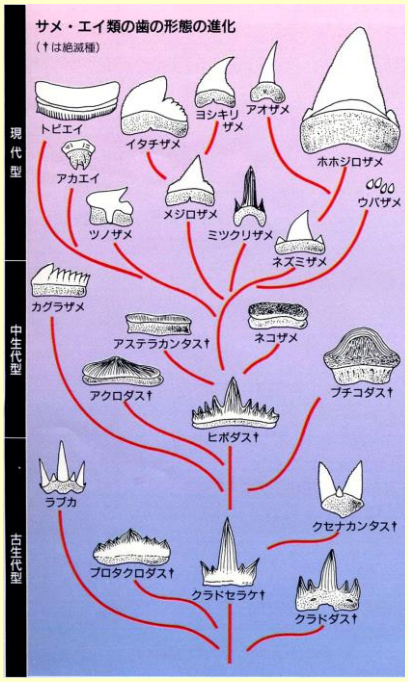

図　サメ･エイ類の歯の形態の進化

主催：電子顕微鏡でミクロを観る会（VOSC 内）

（この事業は東京応化技術科学振興財団の科学教育の普及啓発助成事業の助成を受けています）

＠＠

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツ･文化活動を

若葉台スポーツ･文化クラブ（若葉台 4 丁目 34 番 1、VOSC 事務所 ☎ 921－0404）

＠＠